

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式								
E112M001		家庭科指導法(中等) (Pedagogy of Home Economics(Junior High School)) )														
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員										
必修	2	2	教育学部 令和2年度 以降入学生用			氏名 財津 庸子  E-mail yzaitsu@oita-u.ac.jp 内線 7601										
授業の概要	中学校家庭科の目標や内容構成、家庭科の特徴など全体像を理解し、また、教材研究の方法と学習指導構想の具体的な技術を習得する。中高の関連性をふまへ高校家庭科の授業を構想できるようにする。															
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
目標1 家庭科の目標や内容構成、家庭科の特徴など全体像を説明できる。																
目標2 家庭科の各領域の例示をふまへ、具体的な授業展開を構想できる。																
目標3 家庭科の指導技術を学び、授業を構想し指導案として表現できる。																
目標4																
目標5																
目標6																
目標7																
目標8																
目標9																
目標10																
授業の内容																
1 家庭科の目標・内容構成・教科の独自性																
2 家庭科の指導方法・言語活動の取り扱い																
3 年間指導計画・観点別評価の観点																
4 具体的な授業展開の分析1：A 家族・家庭と子どもの成長																
5 具体的な授業展開の分析2：B 食生活と自立																
6 具体的な授業展開の分析3：C 衣生活・住生活と自立：衣生活分野																
7 具体的な授業展開の分析4：C 衣生活・住生活と自立：住生活分野																
8 具体的な授業展開の分析5：D 身近な消費生活と環境：消費生活の課題と消費者市民教育																
9 具体的な授業展開の分析6：D 身近な消費生活と環境：環境に配慮した生活のくふう																
10 指導技術1(中学校家庭科の授業)																
11 指導技術2(高等学校家庭科の授業)																
12 単元のデザイン1：単元の指導計画の作成																
13 単元のデザイン2：1単位時間の本時案の作成																
14 模擬授業および本時案の改善1																
15 模擬授業および本時案の改善2																
ラック	A:知識の定着・確認	実践例を収集・分析、教材開発、意見交換・相互評価、指導案作成、模擬授業														
ニテ	B:意見の表現・交換															
ンイ	C:応用志向															
グ	D:知識の活用・創造															
時間外学修の内容と時間の目安	準備学修	中学校、高等学校の家庭科教科書・学習指導要領解説家庭編、テキストの講義該当箇所の予習(15h)														
	事後学修	中学校・高等学校の家庭科教科書・学習指導要領解説家庭編、テキストの講義該当箇所の復習(15h) 教材製作、指導案作成、模擬授業の練習など(10h)														
教科書	文科省	中学校学習指導要領解説 技術・家庭編 平成29年														
	文科省	高等学校学習指導要領解説 家庭編 平成30年														
	開隆堂	技術・家庭 家庭分野														
参考書	伊藤葉子編著「新版 授業力UP 家庭科の授業」日本標準(2018) 望月一枝・倉持清美・妹尾理子・阿部睦子・金子京子編「生活発見 生きる力をつける学習 未来をひらく家庭科」教育実務センター(2013) 日本家庭科教育学会編「未来の生活をつくる 家庭科で育む生活リテラシー」明治図書(2019)															
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10				
	レポート等提出物	60%														
	模擬授業・意見交換等	40%														
注意事項																
備考	この科目は『地域創生教育科目』です。 取り扱う内容の順番が状況によって入れ替わることがある。															
リンク	URL															

担当教員の 実務経験の 有無	
教員の実務 経験	中学校・高等学校の家庭科教員
実務経験を いかした教 育内容	中学校・高等学校の家庭科教員（財津庸子） 実際の教育現場における指導経験や専門的知識・技能が、学校教育現場の理解に基づく指導のあり方や指導案等に活かす。